

11回コンサート曲「フィンランディア」「ルスカエ・ポーリエ」「ヴォルガの歌」等 レッスン進行中！

□ 3月17日(金) 18:00～20:30 昂定例レッスンが開催されました。佃さんの体操と千秋さんのヴォイストレーニングのあと、本並先生の指揮で「フィンランディア」「ルスカエ・ポーリエ」「ヴォルガの歌」を、休憩・連絡報告等をはさんで、伊藤さんの指揮で「さとうきび畑」をレッスンしました。ピアノは森二三さん。参加者は全36名でした。



□ 「フィンランディア」はシベリウスの有名な曲。フィンランド人にとっては、国歌に次ぐ第2の「愛国歌」として親しまれており、日本人にも良く知られている名曲。「声とハーモニー」が勝負の曲！ 1番の歌詞で、各パート毎に最後まで通して、音程とメロディーの確認を兼ねて歌い、最後に4部を最高のハーモニーで合わせるレッスンをしました。

□ 「ルスカエ・ポーリエ」

まずこの曲のリズムを理解して歌ってほしい。今回のコンサート曲にも「君死にたまふことなかれ」「花の歌」も12/8拍子。この拍子のリズムをレッスンで習得して欲しい。ピアノ伴奏もよく聴いて。ことばの一つ一つ、1フレーズ毎の表現を豊かに、余韻を残して、ぽつぽつ切らないでしっかり延ばして、もっと感情をこめてきれいな声で歌おう！ etc. . . と指揮者からの的確な指摘がありました。

□「ヴォルガの歌」

昂の男声の独特の声で歌うことになるが、普段よりももっと“気取った”歌い方。大人の男の声で歌ってほしい。「ヴォルガー」の「ガー」は地声は駄目！横に広がらないこと。

「かーわよー」の「よー」は iyoo と歌う。「ロシアー」の「アー」は地声は駄目！きれいな「アー」で。「ひめつつ」：もっと感情入れて、「ひ」を強く、「め」を弱く、「このちをラージンは」：「ラー」の音質整えて、声の出し方がバラバラ、よく聴いて。

「めーぐるー」：「る」の音程正しく。ぶれないでここできれいにハモル！

「オイヴォルガーよ ヴォルガ たのしーきとき かなしきときにも」：ここまで切らないで伸ばす。カンニングプレスを入れて全体で繋いで行く。

最後の「わがははなるヴォルガよーー」の「よーー」はクレッシェンドで終わる。ピアノは最後の2小節はアクセントがつく。その想いを表現する。



昂11回コンサートコーナー

「フィンランディア」(出典：フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia)』)

『フィンランディア』(Finlandia) 作品26は、[フィンランドの作曲家ジャン・シベリウス](#)によって作曲された交響詩。シベリウスの作品の中でもっとも知名度が高いもののひとつである。

1899年に作曲され、1900年に改訂された。

概要[編集]

『フィンランディア』が作曲された [1899年](#) 当時、[フィンランド大公国](#)は[帝政ロシア](#)の圧政に苦しめられており、

独立運動が起こっていた。シベリウスが作曲した当初の曲名は「フィンランドは目覚める」(Suomi herää)で、新聞社主催の歴史劇の伴奏音楽を8曲からなる管弦楽組曲とし、その最終曲を改稿して独立させたものであった。フィンランドへの愛国心を沸き起こすとして、帝政ロシア政府がこの曲を演奏禁止処分にしたのは有名な話である。初演は1900年7月2日、ヘルシンキで行われた。

構成[編集]

2つの序奏を持つ三部形式で、序奏 A (Andante sostenuto) - 序奏 B (Allegro moderato) - A (Allegro) - B - A の構成。

Andante sostenuto; 金管楽器による嬰へ短調の重苦しい序奏で幕を開ける。嬰へ短調だが、調性ははっきりしない。その後木管による甲高い悲痛と弦楽器・ティンパニの重苦しい響きが交錯する。

Allegro moderato; ハ短調の緊迫したこの部分では、ティンパニのトレモロに乗って金管楽器群がこの曲の核となるリズムを予告し、緊迫感が高まる。そして、この後に入って来るクラッシュシンバルにより闘争のイメージをより一層高まらせる。

Allegro; 曲調は一転して、変イ長調の快活な主部となる。中間部となるB部は、後に「フィンランディア賛歌 (Finlandia-hymni)」と名づけられた美しい旋律を中心に展開する。快活な主部が再現され、勝利感に満ちた中で曲は幕を閉じる。

演奏時間は7分強から8分弱である。

楽器編成[編集]

フルート2、オーボエ2、クラリネット2、ファゴット2、ホルン4、トランペット3、トロンボーン3、チューバ、ティンパニ(1対)、トライアングル、シンバル、大太鼓、弦5部

フィンランディア賛歌

「フィンランディア賛歌」は1941年に詩人のヴェイッコ・アンテロ・コスケンニエミによって歌詞がつけられ、シベリウス本人が合唱用に編曲した。無伴奏の合唱で歌われるものは、原曲と調性が異なる。当時、ヨシフ・スターリンが支配するソビエト連邦の露骨な侵略(冬戦争・継続戦争)により、国家存続の危機にあったフィンランドの人々を奮い立たせるものであり、フィンランドでは現在も国歌(「我等の地」)に次ぐ第二の愛国歌として広く歌われている。ヘルシンキ放送交響楽団の演奏ではヘルシンキ放送合唱団による歌声を聞くことができる。また、讃美歌としてもこの旋律に詞をつけて歌われている(「やすかれわがこころよ」)。この曲は、フィンランド出身のレニー・ハーリン監督による映画『ダイ・ハード2』のラスト(ノースイースト機が緊急着陸を試みる)シーンや、エンディングにも使われている。

男声合唱団「昂」在籍10年 (箕面4丁目 米川 勲 2017年2月1日記)

私が知っている合唱団の全国組織は2つです。一つは『全国合唱連盟』で、加盟団体も人数も「象」のように巨大で、歌う曲は美しい曲、明るい曲、楽しい曲で、もう一つの全国組織は『日本のうたごえ協議会』で、加盟団体も人数も『象』とくらべて『リス』ぐらいの組織です。この『うたごえ協議会』は「うたごえは平和の力」を合い言葉に、日本の平和を守っていかうという意識をもって微力ながら平和運動もしています。

この2つの全国組織の代表が6年位前に『うたごえ新聞』の紙上で対談して、「合唱連盟」の代表が、「私たちも平和は大切だと思っています。したがって美しい曲も楽しい曲も歌いま

すが、平和を愛する歌も歌わないことはありません。」と言い、『うたごえ協議会』の代表の人も「日本の平和を願いつつ平和の歌を歌っていますが、美しい曲も楽しい曲もうたっています。」と言い、2人は平和についてなごやかに懇談をしました。

私は『日本のうたごえ協議会』に加盟している男声合唱団「昂」(すばる)(練習教室は谷町6丁目)に入団して今年の夏で10年になります。愚妻は、はじめは「あんた、よう頑張るなあ、エライわ」と言っていました。最近「あんた、本当に感心するわ。楽譜も読めへんに10年もようやってきたなあ。不思議やわ」とのたまいます。男声合唱団「昂」は「一度合唱をやってみたい。平和を大事にしたい。」と思う人は誰でも入団を歓迎しています。

□連絡・報告事項について

(1) 沖縄支援ツアー

5月23日～26日沖縄辺野古に座り込み行動・平和丸海上行動・伊江島戦跡めぐり
 参加費 45,000円(飛行機・貸し切りバス・ホテル)
 何としても辺野古に基地はいらないと戦う県民に連帯して支援に行きませんか
 たくさん誘ってください。 立川

(2) レッスン日の変更

- 3月31日(金)定例レッスン
- 6月から第1日曜日1時～強化レッスン
- 7月1日第1日曜日3時～5時から 特別団員レッスン開始
- 7月7日(金)のレッスン 中止 7月14日(金)に変更 (中村音楽教室・T1パートレッスンも変更)

ちばりよ～沖縄！

移動は観光バス・平和ガイド付

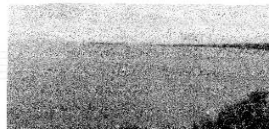
沖繩連帯支援ツアー

大浦湾で平和丸に乗り海上抗議行動を計画！

伊江島を訪ね、辺野古座り込み行動と現地との交流

昨年、500人の機動隊員を本土からやんばるの森に動員して、お金も大量に使い、オスプレイパッドを形の上では造りましたが、機能するにはまだまだです。「やんばるにも、辺野古にも戦争の基地は要らない！」が沖縄の民意です。
 沖縄県民の「勝つまでたたかう」の熱い思いに、応えるために支援ツアーを計画しました。安くて中身が盛りだくさん。辺野古で時間をとります。今回は定員が少ないので早く申し込んで下さい。

たくさんの命を育む大浦湾



やんばるイタシイの森(プロクローリーの森)



うたごえ抗議行動(昨年9月)



辺野古・キャンプシュワブ前座り込み行動



- ☆ 日程/5月23日(火)～26日(金)3泊4日(大阪空港発着予定)
- ☆ 申し込み/定員(30名)になり次第締め切り。名前と年齢・住所を添えて下記まで電話・FAXで申し込んで下さい。
- ☆ 費用/45000円(往復の航空運賃・JAL/ANA利用、現地3泊の宿泊(朝食、夕食付、2人部屋)現地は観光バスで移動。(観光バス、伊江島渡航費用込みの予定)
- ☆ 行程 23日(火) 14:00～15:00 大阪空港発⇒那覇空港着⇒恩納村「恩納マリビューパレス」泊
 24日(水) 8:00分ホテル発⇒辺野古キャンプシュワブにて座り込み行動(海上抗議行動)と現地交流
 ⇒本部町「本部グリーンパークホテル」泊
 25日(木) 8:00分ホテル発⇒本部港から9:00発のフェリーで伊江島に渡り、沖縄戦の戦跡、千人ガマ、団結道場、反戦平和資料館などを見学。⇒16:00発のフェリーで本部港へ(16時半)⇒恩納村「ホテルみゆきビーチ」泊
 26日(金) 8:00ホテル発⇒那覇空港へ⇒那覇空港 11時半～12時半発で大阪空港へ(行程、企画に若干の変更の可能性が予想されます。予めご了承ください。)

主催 ちばりよ～沖縄・大阪のうたごえ協議会
 申し込みは 立川孝信(男声合唱団090-6058-5652) 武田佐由利(北部わが合唱団090-3711-4780)
 冨崎良弘(1733びきのくま090-7888-8054) 安宅由美(松原ぞうれっしゃ合唱団090-5369-9285)

申し込み書

氏名	男・女(○で囲む)	年	月	日生	歳
合唱団・サークル・その他					
住所	電話番号				

(3) 技術部より、いわゆる「旧曲」のレッスン時間を確保について

第11回コンサートに向けて、入団して、ここ1・2・3年の新しいメンバーを対象に、いわゆる「旧曲」を中心としたレッスン時間を確保したい。例えば「降りつむ」「街を返せ」「飲みのナーダム」「Six pence」・・・等。
 当面月1回第3日曜日の定例レッスン終了後(5時過ぎから)約1時間を練習日として、3月から行います。
 レッスン希望者で時間の調整がつかならば、レッスン日の設定も可能か？検討します。
 ベテランのメンバーも協力を兼ねて参加願います